



かたつむい通信

2021年 30号

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの流行により、不便な生活が余儀なくされた年でしたがその中でも楽しく過ごす子どもたちの姿に何度も救われました。

まだまだ自粛生活が続きますが、今年もみなさんにとって素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

☆明石伊川谷園の今年度の活動を季節ごとに紹介します☆

夏

流しそうめんごっこ



夏はプールあそびが行えませんでした
その分水あそびをたくさん楽しみました



せっけんあそび

春は新型コロナウイルスによる影響で
戸外での活動を自粛し室内あそびを多く取り入れました



風船トランポリン

春



新聞あそび

秋みつけ

ハロウィンパーティでは大きな声で「トリックオアトリート」と言ってお菓子をもらいました



秋

ハロウィンパーティ



お店屋さんごっこ



お店屋さんごっこではラーメン屋さん
とケーキ屋さんをしました
麺も具もケーキもすべて
手作りで行いました

冬

クリスマス会



ヒヤリハット報告



○西明石園

- ・4歳児の男の子がジャングルジム2段目から足を滑らせて口を切った。
→ジャングルジムに一人でも登っていたら必ず近くで見守るようになる。
- ・4歳児が公園の帰り道、お散歩ロープから手を離し路地へ走って行った。
→4歳児はロープを持たず、お友達と手を繋いで歩く。
前にいる保育者が近くにいる保育者から離れないようにと伝える。

○明石伊川谷園

- ・1歳児が友だちをまたぐ。
→なぜダメか繰り返し伝える。
- ・ぬいぐるみの引っ張り合いがあった。
→友だちが使っている時はその子が片づけるまで待つように伝える。



○西宮園

- ・おままごとのキッチンの棚から手を滑らせて、後頭部を下の角でぶつけた。
→コーナーガード設置。子どもが遊んでいる時は、必ず近くに一人つく。
- ・サークルにもたれ柵と一緒に倒れる。
→サークルにもたれている子どもがいたら、もたれないよう、
又は、登らないよう声を掛け倒れないようにする。

○川西能勢口駅前園

- ・朝の会の時、テーブル付きの椅子に座っていた0歳児さんがテーブルを手でどかしながら立ち上がろうとしていた。すぐに気付いたので転倒しなかった。
- ・0歳児さんが破れた椅子のクッションを引っ張りだそうとしていた。
- ・1歳児さんが0歳児さんのおもちゃを取って叩こうとした。

○西明石駅前園

- ・1歳児の園児が乳児イスに乗り、降りる時に転倒してしまい上唇を切る。
→保育者が予測し、事前に防げるようにする。

○道場南口園

- ・子どもが2人で靴箱の後ろにもたれていて、重みで靴箱が動いてしまい1人が倒れてしまった。
→靴箱を固定して倒れないようにする。
- ・0歳児の園児が、床に落ちていたおやつのお餅かすを拾って食べようとした。
→そしてすぐ手が届くところに保育者がいなくてははいけない。

○宝塚南口園

- ・窓際にいる0歳児要注意！転倒しておでこぶつける。
- ・靴下はいた状態で走った園児がすべって尻もちついた。
- ・ほっぺに傷がある園児が、お友達にされたと言ってきた。
→よく見ておくようにする。

- ・玄関の柵をあけるようになった子がいる。
→勝手にあけないように見ておく。
- ・柵を園児が押してこけた。誰にもあたらなかったから良かったものの・・・。
- ・文化センターの芝生の囲いから降りたとき、バランスを崩して顔からぶつかった。
→すぐに冷やしたので、痕にはならなかった。
- ・よくこける子がいるので、前後の子もつまづいてこける。
- ・子どもの水筒にお茶を補充する時、まだ暑い時があるので温度を確認したほうがいい。
- ・カーテンの中に入っていた子が窓のサンでおでこをぶつけた。
→カーテンの中に入らないように徹底していきたい。

○西宮えびす園

- ・朝の会での席の場所取りでたたき合いの喧嘩になるそら組。
→席に着いて、お茶を飲むところまでそばで援助する。
- ・ボールが公園の横の住宅の庭に入ってしまった。
→広い所でボール遊びを行うよう子どもに伝える。



○西明石第2駅前園

- ・ベビーチェアから立ち上がろうとする子どもがいる。
→その都度座るよう、声をかけるようにする。
- ・何でもすぐに口に入れてしまう月齢の子が、玩具を口に入れてしまう。
→その都度、口に入れられないよう声をかける。

○神戸枝吉園

- ・いつも行く公園で他の保育園と一緒にになったが、少し大きめのクラスだったので動きが大きく一緒に遊ぶのは危なかった。
→一緒になることは仕方がないが、
少し場所を変えるなど交わらないように対応できるようにしていきたい。
- ・給食の後、お迎えを待っている2歳児さんが入り口のドアの鍵を勝手に開けて外に出て行ってしまった。
→お母さんがお迎えに来た時に気付き、前の道路に出ることはなく自己やケガにはならなかったがとても危険だった。
給食後、保育者が片付けやお昼寝に入る子に手を取られ目を離しがちだが、目を離さないようにしないといけない。
施錠はしているが、年齢が大きくなると簡単に鍵を開けることができるので注意はしていきたい。
- ・0歳児さんが歩けるようになり、その周りを1・2歳児さんが走り回ったりしている事が多くぶつかりそうになる場面が増えた。
→走り回らないようにその都度声をかけケガのないように気をつける。

○さんだ南が丘園

- ・そら組の子が口に粘土を入れそうになった。
- ・子どもが持っていた絵本が他の子にあたってしまった。
- ・ほし組の子がベビーベットに入ってる時よろけて柵で顔を打ってしまった。